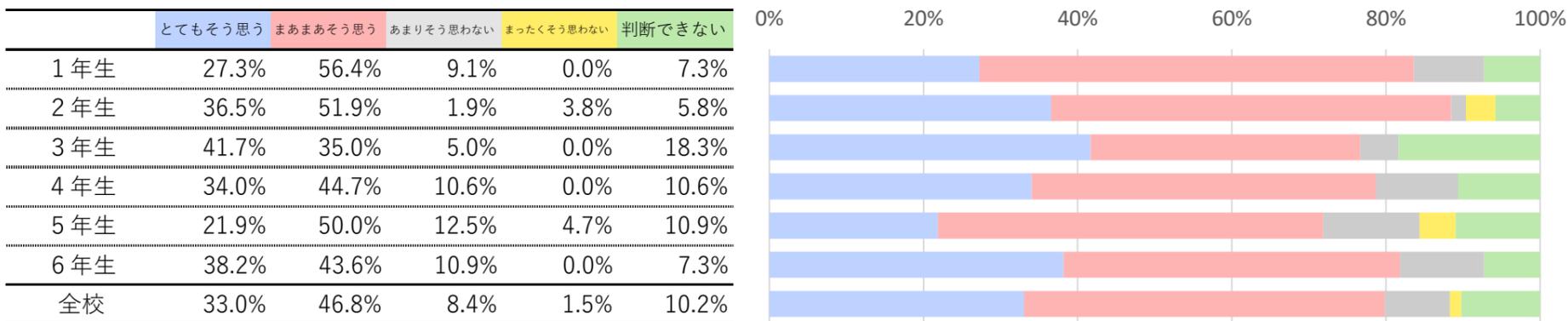
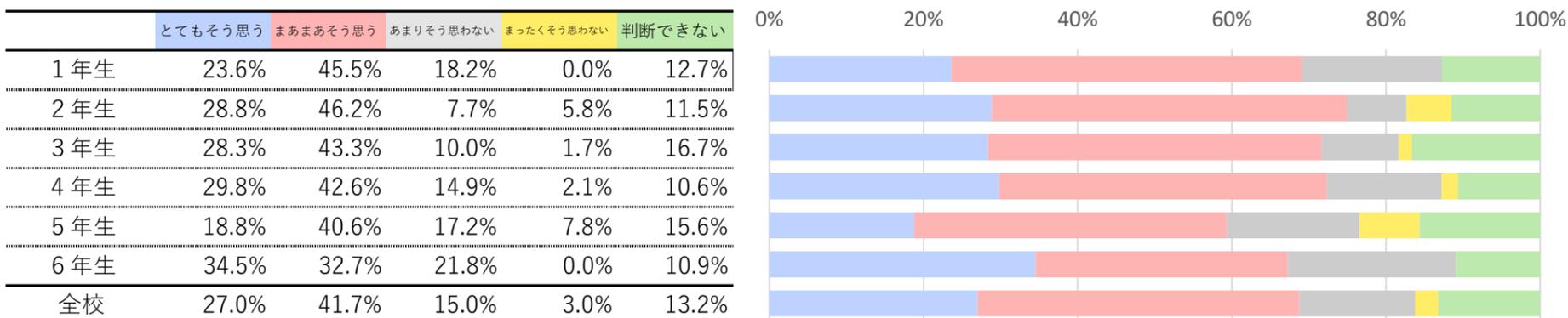


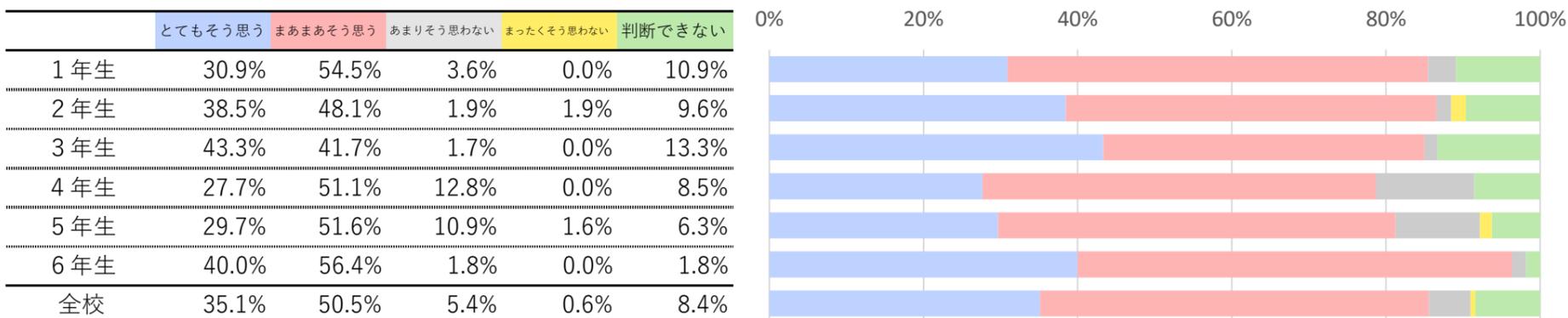
設問01 学校は、子どもが学ぶことが好きになるように、工夫した授業を行っている。



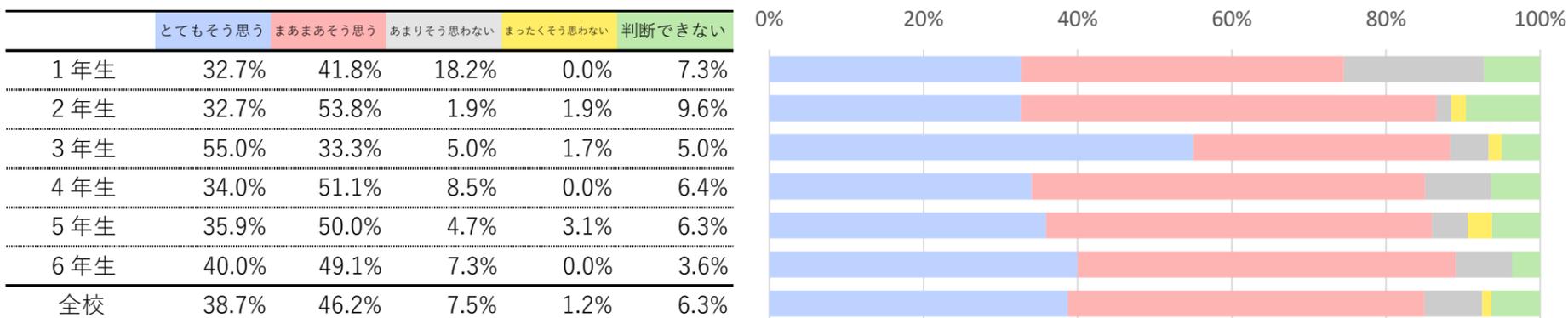
設問02 学校は、一人一人の学びが深まるよう、個に応じた指導を工夫している。



設問03 学校は、授業で「学び合い」や「認め合い」などを通じて、協働して課題解決や学習に取り組んでいる。



設問04 学校は、地域と連携したり、外部講師を活用したりして、特色ある教育活動に力を入れている。



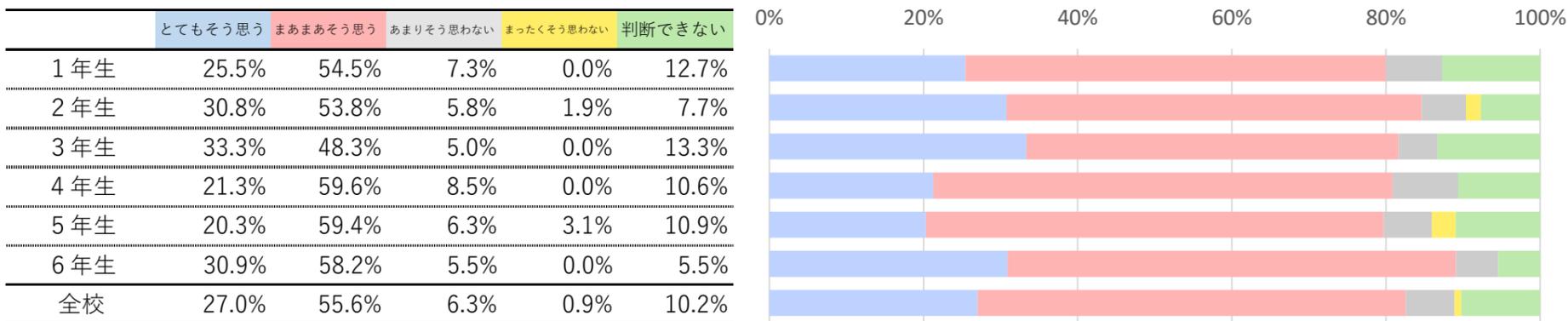
<考察・改善策>

学校生活や学習に関する設問では、概ね肯定的な回答が多く見られた。特に「学び合いによる協働的な学習（設問03）」や「地域と連携した特色ある教育活動（設問04）」は高い肯定率を示しており、日頃の授業改善に一定の理解が得られている。

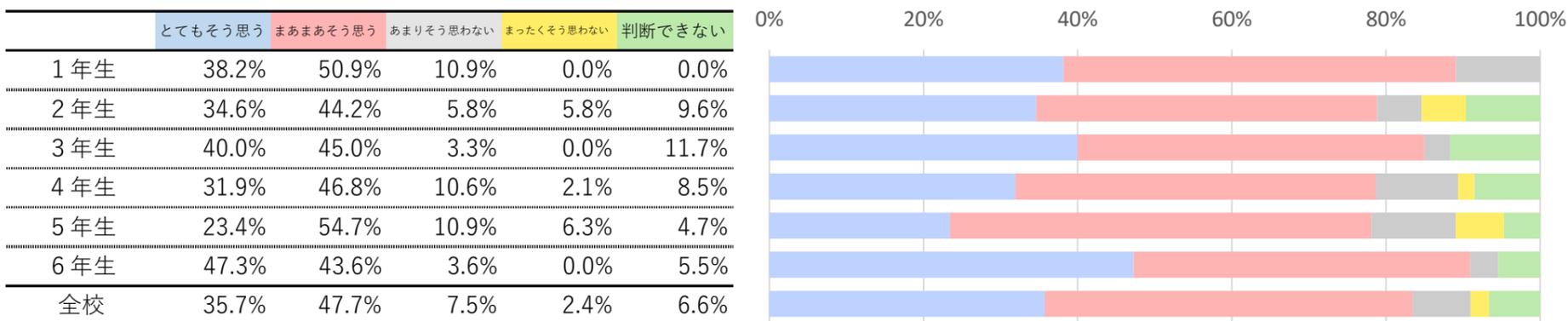
一方で、「子どもが学ぶことが好きになる授業（設問01）」や「一人一人の学びが深まる個に応じた指導（設問02）」は肯定的な回答が全学年平均で8割に届かず、学習への興味のもち方や理解の深まりに、学年差や個人差が見られることが分かる。

今後は、児童が学びの意義を実感できる授業づくりを一層推進するとともに、個に応じた支援の充実を図り、どの学年でも「学ぶことが楽しい」と感じられるような教育活動を展開していく。

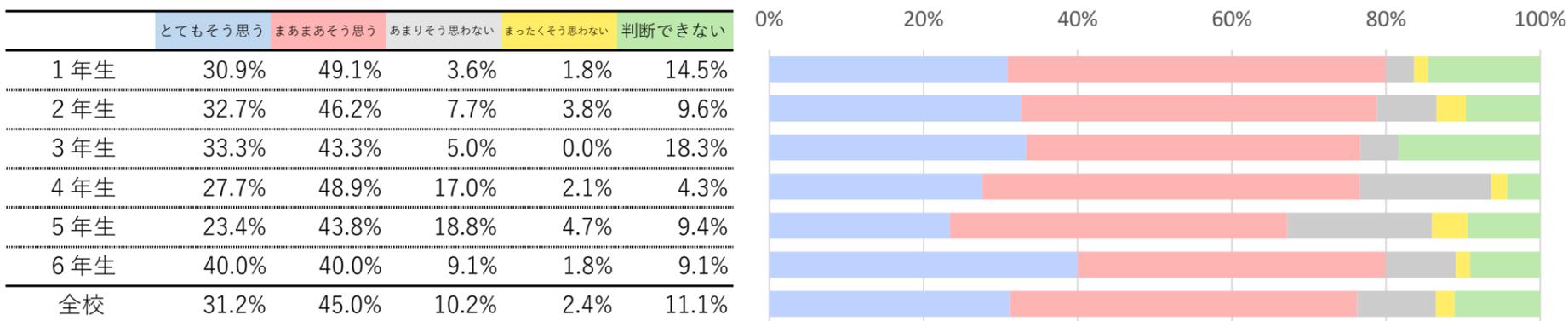
設問05 学校は、「思いやり月間」での取組や道徳の授業を中心とした日頃の教育活動を通して、心の教育に力を入れている。



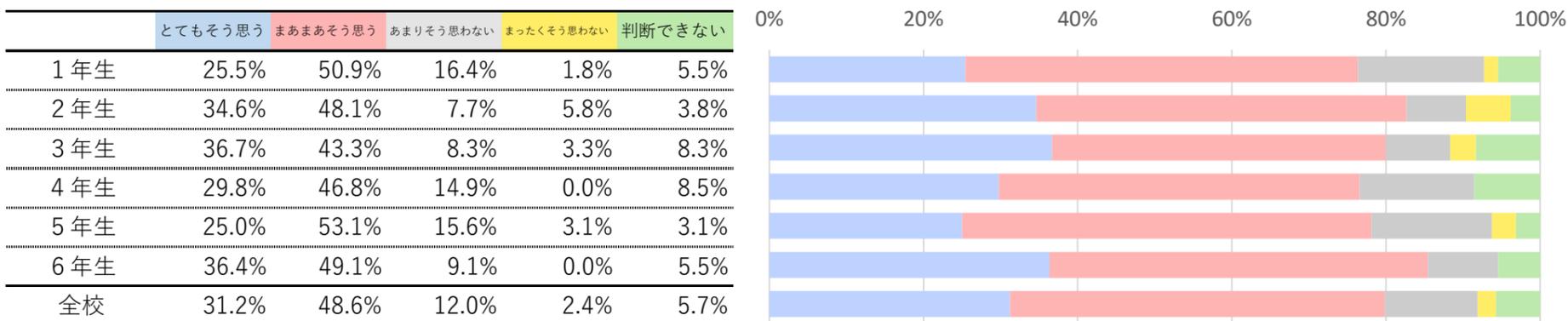
設問06 学校は、子どもの努力や成長を認め、励ましつつ、時には厳しく指導するなど規範意識を高める生活指導に適切に取り組んでいる。



設問07 学校は、子どもの問題や悩み、トラブルなどに適切に対応し、相談に乗ったり指導をしたりして、いじめや不登校の未然防止に努めている。



設問08 学校は、保健指導や食育、体力向上週間（縄跳び週間・持久走週間など）を通して、子どもの健康促進や体力向上を図っている。

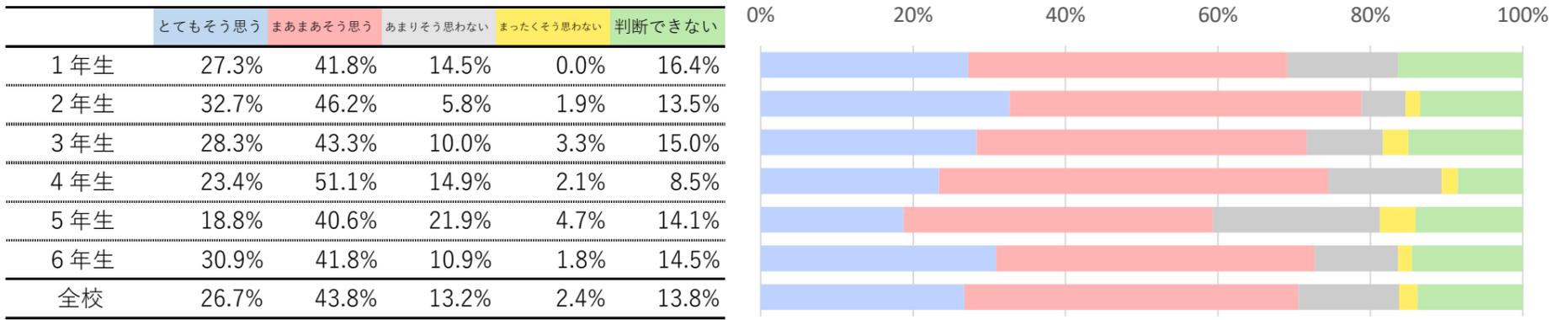


<考察・改善策>

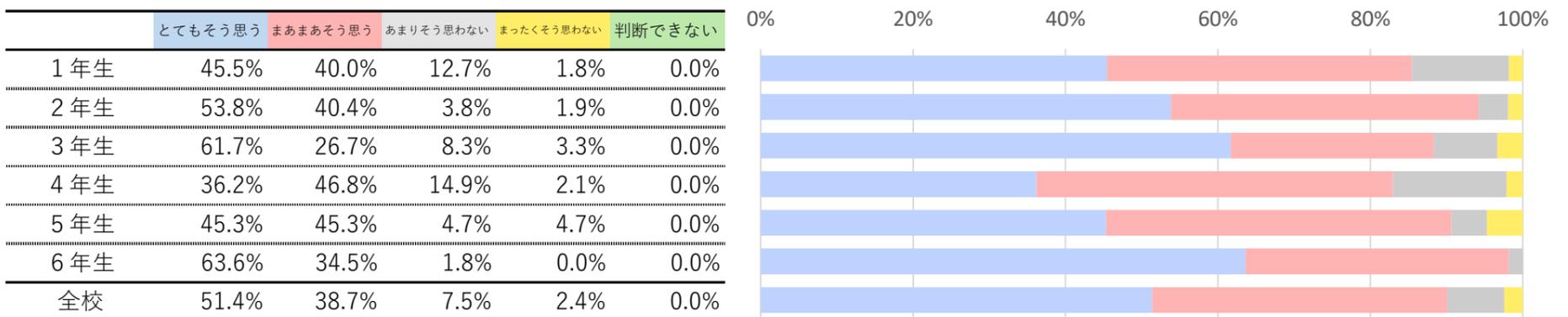
他者への配慮、規範意識に関する設問では、「努力や成長を認める生活指導（設問06）」や「思いやり月間や道徳を中心とした心の教育（設問05）」が高い肯定率を示し、日常生活指導や道徳教育が一定の理解を得ていることがうかがえる。

一方で、「いじめやトラブルの未然防止（設問07）」や、「健康促進・体力向上（設問08）」は肯定的な回答が8割程度であったが、7割に届かないところもあった。困ったときに相談できる体制を周知するとともに、安心して相談できる雰囲気づくりや、信頼関係の構築をさらに丁寧に行っていく必要がある。家庭や関係機関との連携を通して、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいく。

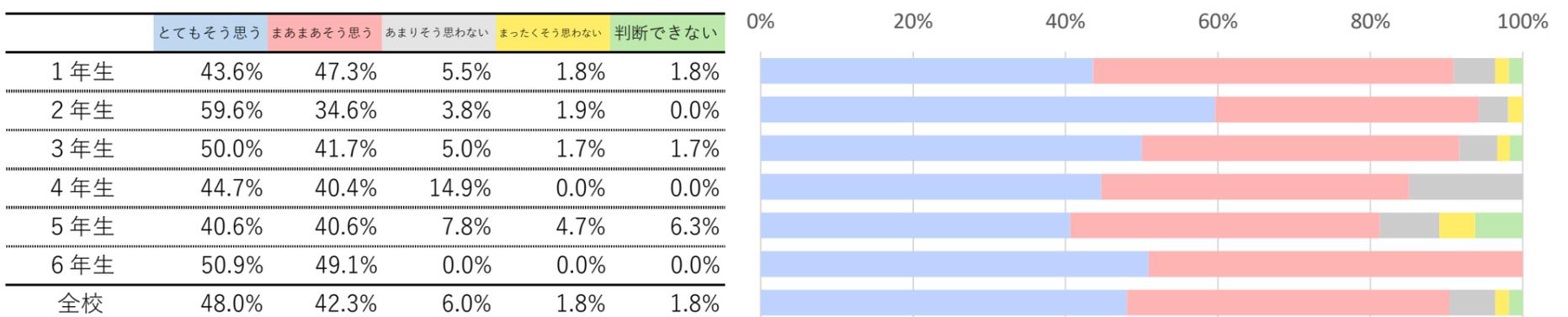
設問09 学校は、児童一人一人の実態に応じた支援体制の充実に努めている。



設問10 学校は、文書やすぐーる、ホームページなどで、連絡事項や学校での教育活動の様子を適切に保護者に伝えている。



設問11 学校は、学校公開、保護者会、個人面談などを通じて、保護者にとって相談しやすい環境を整えている。またその内容に適切に対応している。



<考察・改善策>

「児童一人一人の実態に応じた支援体制（設問09）」では肯定的な回答が7割程度であり、支援体制が保護者に十分伝わっていない可能性があることが読み取れる。一方で、「学校からの情報発信（設問10）」や、「保護者が相談しやすい環境づくり（設問11）」は高い評価を得ており、学校と家庭をつなぐ仕組みが有効に機能していることが分かる。

今後は、全ての保護者に一人一人の実態に応じた支援体制についてより分かりやすく伝え、理解を得る工夫をするとともに、保護者との対話を継続し、より信頼性の高い支援体制の構築を進めていく。